

IGSセミナー

7.25

アメリカ合衆国(米国)では、移民とその家族の生活を脅かす移民規制の厳格化が1990年代後半より加速する一方で、特定の条件を満たした移民層を強制送還の対象から除外し、暫定的な就労権を付与する包摂的プログラムも実施されてきた。このような包摂と排除を併せ持つ「移民管理レジーム」によって、移民とその家族が形成するトランスナショナルな社会空間はどのように再編されているのだろうか。本報告では、以上の問いを米国とメキシコ村落共同体における「道徳的秩序」をめぐる世代とジェンダーの衝突に着目して明らかにする。



講演 飯尾真貴子 (博士・一橋大学)

討論 大野聖良 (日本学術振興会特別研究員RPD)

司会 平野恵子 (IGS)

要事前申込

QRコードかIGSのHPから、  
お申し込み下さい



日時: 2020年7月25日(土)14:00~16:00

オンライン開催 \*事前登録制



主催: お茶の水女子大学ジェンダー研究所

<http://www2.igs.ocha.ac.jp/>

(写真提供: 飯尾真貴子)

# 米国移民管理レジーム下での トランスナショナルな 社会空間の再編

メキシコ村落出身移民と家族のジェンダー化された「道徳的秩序」に着目して